



ローム ミュージック フェスティバル  
ROHM  
MUSIC  
FESTIVAL  
2021 in TOKYO



2021. 10/15 金 紀尾井ホール

主催：公益財団法人 ロームミュージックファンデーション  
共催：ローム株式会社

## ごあいさつ

公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーションとローム株式会社は、音楽を通して豊かな文化を作ることを中心に様々な音楽文化支援活動を継続的に実施しています。

特に奨学援助や学ぶ機会を提供するセミナーなど、音楽を学ぶ若い人たちを支援する事業に力を入れてきました。

そしてこのような事業を通じて関わった音楽家「ローム ミュージック フレンズ」の皆様は国内外で活躍されています。

このフェスティバルでは「ローム ミュージック フレンズ」という繋がりが生み出す、豪華共演をお届けします。

素晴らしい音楽家たちによる音楽との出会いをぜひお楽しみください。

公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション

ローム株式会社

# Program

W.A. モーツァルト ピアノと管楽のための五重奏曲 変ホ長調 K.452  
W.A.Mozart Quintet for Piano, Oboe, Clarinet, Horn and Bassoon in E-flat Major K.452

I Largo - Allegro moderato  
II Larghetto  
III Allegretto

田村 響(ピアノ)、本多 啓佑(オーボエ)、金子 平(クラリネット)、岩佐 雅美(ファゴット)、日橋 辰朗(ホルン)

J. ブラームス ピアノ五重奏曲 ヘ短調 Op.34 より 第1・4楽章  
J.Brahms Quintet for Piano, 2 Violins, Viola and Violoncello in F minor Op.34

I Allegro non troppo  
IV Poco sostenuto - Allegro non troppo

菊池 洋子(ピアノ)、神谷 未穂/直江 智沙子(ヴァイオリン)、赤坂 智子(ヴィオラ)、中木 健二(チェロ)

## ～休憩～

A. ヴィヴァルディ 「四季」ヴァイオリン協奏曲集 “和声と創意の試み” Op.8 第1集  
A.Vivaldi The Four Seasons: Violin Concerto “Il cimento dell’armonia e dell’inventione” Op.8, No.1

第1番 ホ長調 RV.269 「春」  
No.1 in E Major RV.269 “La primavera”

I Allegro  
II Largo  
III Allegro

第2番 ト短調 RV.315 「夏」  
No.2 in G minor RV.315 “L’estate”

I Allegro non motlo - Allegro  
II Adagio - Presto - Adagio  
III Presto

第3番 ヘ長調 RV.293 「秋」  
No.3 in F Major RV.293 “L’autunno”

I Allegro  
II Adagio molto  
III Allegro

第4番 ヘ短調 RV.297 「冬」  
No.4 in F minor RV.297 “L’inverno”

I Allegro non molto  
II Largo  
III Allegro

成田 達輝《春》独奏/滝 千春《夏》独奏/松田 理奈《秋》独奏/玉井 菜採《冬》独奏

白井 圭(コンサートマスター)

植村 太郎/尾池 亜美/三上 亮/横溝 耕一/渡邊 ゆづき(ヴァイオリン)、瀧本 麻衣子/田原 綾子/三浦 克之(ヴィオラ)

遠藤 真理/門脇 大樹(チェロ)、佐野 央子(コントラバス)、越知 晴子(チェンバロ)

企画:公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション

制作プロデュース:善積 俊夫、新井 鷗子 制作:株式会社 1002

オンライン ライブ/アーカイブ配信:カーテンコール

# Program note

W.A.モーツァルト(1756～1791)

## ピアノと管楽のための五重奏曲 変ホ長調 K.452

ウィーン生活4年目の1784年、モーツァルは活発にコンサートを開き、そこで自演するためのピアノ協奏曲を6曲(第14番～第19番)も生み出していた。その第16番と第17番と相前後して同年3月下旬に作曲され、4月1日にブルク劇場で前記2曲と同時初演されたのが本作である。このような創作経緯からみると、オーケストラ部分を4つの管楽器に置き替えた小協奏曲とみることでもできるだろう。初演は大成功を収め、モーツァルト自身、父への手紙に「五重奏曲は大喝采を博しました。わたしはこの曲をこれまでに書いた中の最高の作品と考えています」と綴った。のち1796～1797年に26歳のベートーヴェンが同じ編成、同じ調性で書いた作品16は本作に範をとったものと考えられている。

第1楽章:ラルゴ～アレグロ・モデラート、変ホ長調、4/4拍子。ピアノから歌い出されるラルゴの序奏と、ソナタ形式の幸福感溢れる主部からなる。

第2楽章:ラルゲット、変ロ長調、3/8拍子。ソナタ形式の緩徐楽章。第1主題に続く推移楽節ではピアノの分散和音にのせて管が短調の美しい旋律を紡ぐ。

第3楽章:アレグレット、変ホ長調、2/2拍子。ロンド形式。コーダ前には各楽器の妙技を聴かせる長大なカデンツァが置かれている。

J.ブラームス(1833～1897)

## ピアノ五重奏曲 ヘ短調 Op.34 より 第1・4楽章

1862年、ヨハネス・ブラームスは弦楽四重奏にチェロ1本を加えた弦楽五重奏曲を書き上げ、クララ・シューマンとヨーゼフ・ヨアヒムの意見を仰いだところ、両人の評は芳しくなかった。そこで彼はこれを2台のピアノのためのソナタに改作し1864年4月17日に初演した。だが、クララから再度の助言を受けたため弦の滑らかな音の繋がりを復活させてピアノ五重奏曲の形に再改訂した。こうして、最終的にこの編成に落ち着いた本作は1865年に出版され、1868年3月24日に公開初演されて成功を収めた。現在も同種室内楽曲の中でも屈指の名曲として広く愛好されている。

第1楽章:アレグロ・ノン・トロppo、ヘ短調、4/4拍子。ソナタ形式。激しい情熱を秘めた峻厳な楽想がピアノと第1ヴァイオリンとチェロからいきなり歌い出される。

第4楽章:ポーコ・ソステヌート～アレグロ・ノン・トロppo、ヘ短調、2/2拍子。冒頭は幻想的な序奏。ロンド主部は躍動的に進み、フェルマータ休止で一呼吸おいたあと、一気に曲を結ぶ。

A.ヴィヴァルディ(1678～1741)

## 「四季」ヴァイオリン協奏曲集 “和声と創意の試み” Op.8 第1集

ヴェネツィアの司祭アントニオ・ヴィヴァルディは教会附属養育院の音楽教師として少女たちを教え、彼女たちに演奏させるため、あるいは貴人の求めに応じて膨大な数の作品を生んだ。協奏曲集「四季」は12曲からなる合奏曲集“和声と創意の試み”の冒頭の4曲。各曲は季節ごとの自然と人間の営みを歌いあげた14行詩を踏まえた描写的内容となっている。

### 第1番 ホ長調 RV.269 「春」

第1楽章:アレグロ。春の訪れを告げる全合奏から開始され、小鳥たちの歌と泉のせせらぎの描写を経て、春雷と稲妻が表現される。

第2楽章:ラルゴ。ヴァイオリンが木々の葉擦れの音を、断続的なヴィオラの音型が犬の遠吠えを模倣する。

第3楽章:アレグロ。軽快なシチリアーナ舞曲。

### 第2番 ト短調 RV.315 「夏」

第1楽章:アレグロ・ノン・モルトーアレグロ。カッコウ、山鳩、ヒワの鳴き声が響いたあと北風が吹き荒れる。

第2楽章:アダージョープレストーアダージョ。ソロは家畜に群がるハエに悩まされる羊飼いを表す。

第3楽章:プレスト。雷鳴が轟いて激しい嵐が到来する。

### 第3番 ヘ長調 RV.293 「秋」

第1楽章:アレグロ。収穫の祝宴。酔っぱらいの千鳥足をソロが描写する。中間部は鎮まり、酔った村人の眠りを表す。

第2楽章:アダージョ・モルト。弱音器をつけた弦合奏が秋の夜長の深い眠りを静かに表現する。

第3楽章:アレグロ。狩りの情景。ソロが重音奏法で角笛を模し、鉄砲の音、倒れる獲物、猟犬の声などが描写される。

### 第4番 ヘ短調 RV.297 「冬」

第1楽章:アレグロ・ノン・モルト。寒さに歯の根がガチガチと鳴るありさまをソロが重音のトレモロで描写する。

第2楽章:ラルゴ。ピツィカートが戸外の雨を表し、穏やかな旋律が暖炉を囲む憩いのひとときを表現する。

第3楽章:アレグロ。前半では氷上を行く人が滑って転倒するありさまが描かれ、後半は南風と北風との闘いを描く。

[萩谷 由喜子]

# Mozart

## W.A.モーツァルト：ピアノと管楽のための五重奏曲 変ホ長調 K.452



©武藤 卓

### 田村 響 (ピアノ) Hibiki Tamura

2008、2014年度奨学生 給付時の在籍学校：ザルツブルク・モーツァルトテウム音楽大学、大阪音楽大学大学院

2007年ロン＝ティボー国際コンクールにおいて弱冠20歳で第1位に輝き、一躍世界に注目される。ケルン放送交響楽団、NHK交響楽団、読売交響楽団、東京都交響楽団など、各地のオーケストラと共演。日本各地でリサイタルを発売に行う他、室内楽にも積極的に取り組んでいる。愛知県出身。18歳でザルツブルク・モーツァルトテウム音楽大学に留学。2015年大阪音楽大学大学院修了。深谷直仁、清水皇樹、クラウディオ・ソアレス、クリストフ・リースの各氏に師事。2006年出光音楽賞、2009年ホテルオークラ音楽賞、2015年文化庁芸術祭音楽部門新人賞など、受賞多数。京都市立芸術大学専任講師。



### 本多 啓佑 (オーボエ) Keisuke Honda

学生フェスティバル2008出演者 出演時の在籍学校：東京藝術大学  
2011、2012年度奨学生 給付時の在籍学校：ハンブルク音楽演劇大学大学院

福島県出身。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、東京藝術大学音楽学部を経て同大学院修士課程修了。ハンブルク音楽演劇大学大学院修了。第79、82回日本音楽コンクールオーボエ部門、第7回津山国際総合音楽祭ダブルリードコンクールに入賞。また、藝大在学時より木管五重奏団アンサンブル・ミクストのメンバーとして活動し、第7回大阪国際室内楽コンクール管楽部門第3位。これまでにCD「ミクスト・ノート」、「ファンタジー」をリリースした他NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」などに出演。現在東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団首席オーボエ奏者、木管五重奏団アンサンブル・ミクストのメンバーの他、洗足学園音楽大学非常勤講師を務める。



©読売日本交響楽団

### 金子 平 (クラリネット) Taira Kaneko

2005～2008年度奨学生 給付時の在籍学校：リューベック音楽大学  
2002年度セミナー生 2004年小澤征爾音楽塾 塾生

1984年、埼玉県所沢市生まれ、東松山市育ち。東京藝術大学を経て、2005年から独リューベック音楽大学で学び、2012年同大学院卒業。クラリネットを半田裕一、山本正治、村井祐児、ザビーネ・マイヤーの各氏に師事。2006年日本音楽コンクール第1位、あわせてE.ナカミチ賞、岩谷賞(聴衆賞)。2008年ヴィースバーデン・モーツァルト・コンクール第1位、同年ARDミュンヘン国際音楽コンクールで日本人初の第3位入賞、2009年ルイ・シュボア・メダルなど受賞多数。2009年から2012年までリューベック歌劇場管弦楽団(リューベック・フィルハーモニー管弦楽団)でクラリネット奏者を務めた。現在、読売日本交響楽団首席クラリネット奏者、紀尾井ホール室内管弦楽団メンバー。



### 岩佐 雅美 (ファゴット) Masami Iwasa

学生フェスティバル2000出演者 出演時の在籍学校：東京藝術大学  
2001～2004年小澤征爾音楽塾 塾生

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、同大学器楽科卒業。その後、同大学院に進み修士課程を修了。1999年第11回宝塚ベガ音楽コンクール木管部門入賞。別府アルゲリッチ音楽祭、小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクト、宮崎国際音楽祭などに出演。これまでにファゴットを霧生吉秀、岡崎耕治、岡本正之の各氏に、室内楽を小畑善昭、三界秀実、四戸世紀、岡本正之の各氏に師事。紀尾井ホール室内管弦楽団、トリオン晴れた海のオーケストラメンバー。読売日本交響楽団ファゴット奏者。



©読売日本交響楽団

### 日橋 辰朗 (ホルン) Tatsuo Nippashi

2007、2009年小澤征爾音楽塾 塾生

東京都出身。2010年東京音楽大学卒業。第26回日本管打楽器コンクール第1位。および特別大賞、審査員特別賞、東京都知事賞、文部科学大臣奨励賞を受賞。第80回日本音楽コンクール第1位。および岩谷賞(聴衆賞)、E.ナカミチ賞を受賞。2007～2011年小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクト オーケストラメンバー。ソリストとして読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団と共演。木曾音楽祭、東京・春・音楽祭に出演。ホルンを後藤照久、井手詩朗、水野信行の各氏に師事。日本フィルハーモニー交響楽団首席ホルン奏者を経て、現在、読売日本交響楽団首席ホルン奏者。紀尾井ホール室内管弦楽団メンバー。国立音楽大学、東京音楽大学非常勤講師。

# Brahms

## J.ブラームス：ピアノ五重奏曲 ヘ短調 Op.34 より 第1・4楽章



©Yuji Hori

### 菊池 洋子 (ピアノ) Yoko Kikuchi

2002、2003年度奨学生 給付時の在籍学校：イモラ音楽院

第8回モーツァルト国際コンクールにおいて日本人として初めて優勝。その後、ザルツブルク音楽祭のモーツァルト・マチネに出演する他、国内外で活発に活動を展開。2009、2018～2019年にモーツァルトのピアノ・ソナタ全曲演奏会を行い、好評を得た。CD録音も活発に行い、エイベックス・クラシックスとオクタヴィア・レコードよりリリースしている。2018年より、前橋市 Presents 舞台芸術祭の芸術監督を務める。2007年第17回出光音楽賞受賞。



©Fotofolly

### 神谷 未穂 (ヴァイオリン) Miho Kamiya

2001、2002年度奨学生 給付時の在籍学校：ハノーファー国立音楽演劇大学、パリ国立高等音楽院

桐朋学園大学、ハノーファー国立音楽演劇大学、同ソリストクラスをいずれも首席卒業。パリ国立高等音楽院最高課程修了。国内外の主要コンクールに入賞。「題名のない音楽会」などTVに出演。仙台フィルハーモニー管弦楽団、横浜シンフォニエッタコンサートマスター、千葉交響楽団特任コンサートマスター、宮城学院女子大学特命教授、音楽の力による復興センター・東北理事、地域創造「公共ホール音楽活性化事業」協力アーティスト。CDは従姉の磯絵里子との「デュオプリマ」で3枚、望月優芽子(Pf)とのデュオによる「ブーケ・ド・フランス」「異国組曲(アンサンブル・マレッタ)」などをリリース。



©JUNICHIRO MATSUO

### 直江 智沙子 (ヴァイオリン) Chisako Naoe

2008.10～2009.9在外研究生 研修場所：ドイツ  
2002～2004、2006～2008年小澤征爾音楽塾 塾生

桐朋女子高等学校を経て桐朋学園大学を卒業。在学中より小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクト、宮崎国際音楽祭、水戸室内管弦楽団、JT室内楽シリーズ、東京・春・音楽祭—東京のオペラの森—、サイトウ・キネン・フェスティバル松本、トリオン晴れた海のオーケストラなどの音楽祭、室内オーケストラに参加。また、広島交響楽団、京都市交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、山形交響楽団、札幌交響楽団などの各オーケストラで度々ゲスト首席奏者を務めている。これまでに故荒谷正雄、市川映子、徳永二男の各氏に師事。ローム ミュージック ファンデーションの在外研究生としてベルリンに留学、シュテファン・ピカール氏に師事。現在神奈川フィルハーモニー管弦楽団第2ヴァイオリン首席奏者。



©Jumpei Tainaka

### 赤坂 智子 (ヴィオラ) Tomoko Akasaka

2005～2008年度奨学生 給付時の在籍学校：ジュネーヴ音楽院  
2001～2003年小澤征爾音楽塾 塾生

桐朋学園大学、リスト音楽院を経てジュネーヴ音楽院にて今井信子に師事。2019年よりミュンスター音楽大学教授、イタリアプレシア音楽アカデミー教授も兼任。ルツェルン音楽祭、ヴェルビエ音楽祭、ザルツブルク音楽祭、ラ・フォル・ジュルネ、BBCプロムス、チャイコフスキー音楽祭、サンフランシスコ音楽祭など多数の音楽祭に招かれる。これまでに、庄司紗矢香、榎本大進、ギドン・クレーメル、ミクロシュ・ペレニ、ダニエル・ホーパ、メナハム・プレスラー各氏、エベヌ弦楽四重奏団、クス弦楽四重奏団などと共演。ソリストとしては、バイエルン放送交響楽団、クレメラータ・バルティカ、ベネズエラ交響楽団、ミュンヘン室内管弦楽団、ジュネーヴ室内管弦楽団などと共演を果たす。第53回ARDミュンヘン国際音楽コンクール・ヴィオラ部門第3位。



©塩澤秀樹

### 中木 健二 (チェロ) Kenji Nakagi

2006～2009年度奨学生 給付時の在籍学校：パリ国立高等音楽院、ベルン芸術大学  
2003年小澤征爾音楽塾 塾生

愛知県岡崎市出身。東京藝術大学を経て2003年渡仏、パリ国立高等音楽院、ベルン芸術大学の両校を首席で卒業。2005年ルトスワフスキ国際チェロ・コンクール第1位、2008年Note et Bien国際フランス音楽コンクール・グランプリなど、受賞多数。2010年より2014年までフランス国立ボルドー・アキテーヌ管弦楽団の首席奏者を務め、帰国後はソリストおよび室内楽の演奏活動を本格始動。キングレコードより「J.S. バッハ：無伴奏チェロ組曲 BWV1007-12(全曲)」(「レコード芸術」誌・特選盤)他のCDをリリース。紀尾井ホール室内管弦楽団メンバー。東京藝術大学音楽学部准教授。使用楽器はNPO法人イエロー・エンジェルより貸与されている1700年製ヨーゼフ・グアルネリ。Thomastik Infeld 社契約アーティスト。

【ローム ミュージック フレンズ】  
現学生、在外研究生…ローム ミュージック ファンデーション 音楽在外研究生、セミナー生…ローム ミュージック ファンデーション 音楽セミナー 受講生、  
学生フェスティバル出演者…京都・国際音楽学生フェスティバル出演者、小澤征爾音楽塾 塾生



©Marco Borggreve

### 成田 達輝 (ヴァイオリン) Tatsuki Narita 《春》独奏

2010～2012年度奨学生 給付時の在籍学校:パリ国立高等音楽院

1992年生まれ。札幌で3歳よりヴァイオリンを始める。ロン＝ティボー国際コンクール(2010年)、エリザベート王妃国際音楽コンクール(2012年)、仙台国際音楽コンクール(2013年)でそれぞれ第2位受賞。これまでに、ペトル・アトリヒテル、オーギュスタン・デュメイ、ピエタリ・インキネンなど著名指揮者や国内外オーケストラと多数共演している。2018年8月と翌2月に韓国で行われた平昌音楽祭に参加し、ソン・ヨルム、スヴェトリン・ルセフラと共演。2018年にはミンスクで行われたユーリ・バシムメット音楽祭にも参加している。使用楽器は、アントニオ・ストラディヴァリ黄金期の“Tartini” 1711年製。(宗次コレクションより貸与)。



©Alexander Platz

### 滝 千春 (ヴァイオリン) Chiharu Taki 《夏》独奏

2006～2009年度奨学生 給付時の在籍学校:チューリヒ芸術大学  
2004、2006年小澤征爾音楽塾 塾生

ユーディ・メニューイン国際コンクール第1位など数々の国際コンクールに入賞。国内外リサイタルをはじめ、CDデビューや、各地主要オーケストラにおいて、数多くの指揮者と共演。スイスのアマート・オーケストラにコンサートミストレスとしてヨーロッパ各地の著名なホールで好演後、ダボス国際音楽祭に招かれ、同年にはベルリン・フィルハーモニーにて新ベルリン交響楽団と共演。ピクテ投信投資顧問株式会社のピクテ・パトロネージュ・プロジェクトのアーティストとして3年間勤め上げ、2018年デビュー10周年記念リサイタルは好評を博し、翌年フランスのル・テュケのムジカ・ニゲラ音楽祭に招かれ大好評を得た。2019年1月から短期でミュンヘン放送管弦楽団のコンサートミストレスに短期就任。



©Marco Patella

### 松田 理奈 (ヴァイオリン) Lina Matsuda 《秋》独奏

2004～2007年度奨学生 給付時の在籍学校:ニュルンベルク音楽大学

2001年第10回日本モーツァルト音楽コンクール第1位。2002年にはトッパンホールで「16才のイザイ弾き」というテーマでソロリサイタル開催。2004年、第73回日本音楽コンクール第1位。2007年にはサラサーテ国際コンクールにてディプロマ入賞。これまでに国内の主要オーケストラに加え、ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団、ヤナーチェク・フィルハーモニー管弦楽団、スーク室内オーケストラ、ベトナム国立交響楽団など数々の楽団や著名指揮者と共演。2006年ビクターエンタテインメントより「ドルチェ・リナ」、2008年に「カルメン」、2010年には「ラヴェル・ライブ」をリリース。イザイの無伴奏ヴァイオリン・ソナタ全曲集は、「レコード芸術」特選盤に選出された。そして、2018年5月にはブラームスとフランクのソナタを収録した5枚目のアルバムをリリースした。



©尾形正茂

### 玉井 菜採 (ヴァイオリン) Natsumi Tamai 《冬》独奏

1998、1999年度奨学生 給付時の在籍学校:ミュンヘン音楽大学

桐朋学園大学在学中に、ブラハの春国際音楽コンクールに優勝。卒業後、スヴェーリンク音楽院、ミュンヘン音楽大学にて研鑽を積む。この間、ヨハン・セバスチャン・バッハ国際コンクール最高位をはじめ、エリザベート王妃国際音楽コンクール、シベリウス国際ヴァイオリンコンクールなど、数々のコンクールに入賞している。平成14年度文化庁芸術祭新人賞、平成20年度京都府文化賞奨励賞など受賞。国内外で、活発な演奏活動を展開している。紀尾井ホール室内管弦楽団コンサートマスター、アンサンブル of トウキョウ・ソロヴァイオリニスト、東京クライスアンサンブルのメンバー。東京藝術大学教授。使用楽器は、藝大所蔵のStradivarius“Ex-Park”(1717)。



©黒澤義教

### 植村 太郎 (ヴァイオリン) Taro Uemura

2007～2010年度奨学生 給付時の在籍学校:桐朋学園大学、ジュネーヴ音楽院、ハノーファー国立音楽演劇大学  
2004、2006年小澤征爾音楽塾 塾生

三重県桑名市出身。名古屋市立菊里高校、桐朋学園大学を首席卒業後、ローム ミュージック ファンデーション、岡田文化財団に助成を受け、ドイツハノーファー国立音楽演劇大学、ジュネーヴ音楽院(カルテットコース)、ベルリン ハンスアイスラー音楽大学大学院にて研鑽を積んだ。第74回日本音楽コンクールにて第1位、同時に黒柳賞、レウカディア賞、鷺見賞、岩谷賞(聴衆賞)を受賞。ソリストとしてプラハ交響楽団、ザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団など共演。現在、東京藝術大学准教授、藝大フィルハーモニア管弦楽団ソロコンサートマスター、ジュニア・アカデミー講師、名古屋フィルハーモニー交響楽団客演コンサートマスター、フコク生命パートナー・アーティスト、愛知県立芸術大学非常勤講師を務める。使用楽器は、NPO法人イェロー・エンジェルより貸与中のT.パレストリエ(1760年製)。



©Hisashi Morifuji

### 尾池 亜美 (ヴァイオリン) Ami Oike

2011、2012年度奨学生 給付時の在籍学校:ローザンヌ高等音楽院

東京都生まれ。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、同大学を安宅賞、同声会賞、アカンサス賞を受賞し卒業。ローザンヌ高等音楽院修士課程修了。英国王立北音楽院、グラーツ芸術大学にて研鑽を積む。日本学生支援機構(JASSO)大賞受賞。青山音楽賞バロックザール賞受賞。ローム ミュージック ファンデーション奨学生。明治安田クオリティオブライフ文化財団奨学生。日本モーツァルト音楽コンクールに最年少で入賞。江藤俊哉ヴァイオリンコンクール優勝。日本音楽コンクール第1位、聴衆賞、黒柳賞、レウカディア賞受賞。RNCM マンチェスター国際ヴァイオリンコンクール優勝、委嘱作品最優秀演奏賞。カール・フレッシュ国際ヴァイオリンコンクール第2位。Ensemble FOVE、アミティ・カルテット、紀尾井ホール室内管弦楽団メンバー。東京藝術大学講師。



©Shigeto Imura

### 白井 圭 (ヴァイオリン) Kei Shirai

2001、2002年小澤征爾音楽塾 塾生

1983年、トリニダード・トバゴ共和国生まれ。東京藝術大学卒業。徳永二男、大谷康子、故田中千香士、堀正文、故ゴールドベルク山根美代子の各氏に師事。2007年文化庁の奨学生として留学。ウィーン国立音楽演劇大学室内楽科にてヨハネス・マイスル氏、ヴェスナ・スタンコーピッチ氏に師事。ARDミュンヘン国際音楽コンクール(第2位および聴衆賞)、ハイドン国際室内楽コンクール(第1位および聴衆賞)など受賞。ウィーン楽友協会、ロンドン・ウィグモアホール、ベルリン・コンツェルトハウスなどで演奏。セイジ・オザワ松本フェスティバル、木曾音楽祭、武生国際音楽祭などに参加。Stefan Zweig Trio、ルートヴィヒ・チェンバー・プレイヤーズ・シュトゥットガルト、トリオ・アコード各メンバー。田中千香士レポリューション・アンサンブル音楽監督。現在、NHK交響楽団ゲスト・コンサートマスター。



©Shigeto Imura

### 三上 亮 (ヴァイオリン) Ryo Mikami

2004、2005年度奨学生 給付時の在籍学校:ローザンヌ高等音楽院  
2000年小澤征爾音楽塾 塾生

東京藝術大学音楽学部首席卒業後、アメリカ南メソジスト大学メドウズ音楽院、ローザンヌ高等音楽院、メニューイン国際音楽アカデミーで研鑽を積む。安宅賞、日本音楽コンクール第2位、プリテン国際ヴァイオリンコンクール特別賞、ストラディヴァリウスコンクール第2位など受賞。2011年まで札幌交響楽団コンサートマスターを務める。2013年巨匠イェルク・デームス氏とデュオリサイタルを開催し好評を博した。現在は東京藝術大学非常勤講師の他、広島交響楽団各員コンサートマスター、ヴェルタス・クワルテットのメンバーとしても活躍。これまでに「パッサカリア」「ツィガース」など6枚のCDをリリース。使用楽器は1628年製ニコロ・アマティ。



©Shigeto Imura

### 横溝 耕一 (ヴァイオリン) Koichi Yokomizo

2007、2009年小澤征爾音楽塾 塾生

第58回全日本学生音楽コンクール東京大会高校の部入選。2006年Verus String Quartetを結成し、ヴィオラ奏者として第57回ARDミュンヘン国際音楽コンクール弦楽四重奏部門第3位。宮崎国際音楽祭、別府アルグリッチ音楽祭、サイトウ・キネン・フェスティバル松本など、国内外の音楽祭に参加。これまでにヴァイオリンを小森谷巧、堀正文、徳永二男の各氏に、室内楽を徳永二男、毛利伯郎、原田幸一郎、東京クワルテットの各氏に師事。現在NHK交響楽団ヴァイオリン次席奏者としての活動の他、ヴィオラ奏者としても各地のオーケストラに客演している。



©黒澤義教

### 渡邊 ゆづき (ヴァイオリン) Yuzuki Watanabe

2001年度奨学生 給付時の在籍学校:パリ国立高等音楽院 2000、2001、2003、2004年小澤征爾音楽塾 塾生

ボストンのニューイングランド音楽院の音楽教室、桐朋学園女子高等学校音楽科、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマ・コースを修了。1996年から2002年までパリに留学。パリ・エコール・ノルマル音楽院室内楽科、パリ国立高等音楽院の大学院第3課程ヴァイオリン科と室内楽科を修了。これまでに植村祐子、エリック・ローゼンブリス、進藤義武、久保田良作、久保良治、江藤俊哉、ミリアム・キャルサン、オーギュスタン・デュメイ、ジャン＝ジャック・カントロフに師事。1992年東京国際音楽コンクール室内楽部門で齋藤秀雄賞受賞。同年第61回日本音楽コンクール第1位。あわせてレウカディア賞、黒柳賞、鷺見賞、海外派遣特別賞を受賞。2001年イタリアにてガエターノ・ジネッティ国際室内楽音楽コンクール第2位。現在、東京都交響楽団副首席奏者、洗足学園音楽大学非常勤講師。トリトン晴れた海のオーケストラメンバー。



©黒澤義教

### 龍本 麻衣子 (ヴィオラ) Maiko Takimoto

2010、2011年度奨学生 給付時の在籍学校:シュトゥットガルト音楽演劇大学  
2005、2006、2008、2009、2013年小澤征爾音楽塾 塾生

東京藝術大学で川本嘉子にヴィオラを師事。卒業後は、ローム ミュージック ファンデーション奨学生としてシュトゥットガルト音楽大学院にてアンドラ・ダーツィンスに師事。第10回東京音楽コンクール弦楽器部門第3位(ヴィオラ最高位)。2006年Quartet Venereとしてウィーン国立音楽大学国際室内楽アカデミーでArtis-Preis(第1位)受賞。小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクト、水戸室内管弦楽団、別府アルグリッチ音楽祭、2013年よりサイトウ・キネン・オーケストラに参加。現在は新日本フィルハーモニー交響楽団契約首席ヴィオラ奏者、トリトン晴れた海のオーケストラメンバー。



©Hisashi Morifuji

### 田原 綾子 (ヴィオラ) Ayako Tahara

2015、2016年度奨学生 給付時の在籍学校:桐朋学園大学、パリ・エコール・ノルマル音楽院

第11回東京音楽コンクール弦楽部門第1位および聴衆賞、第9回ルーマニア国際音楽コンクール全部門グランプリを受賞。国内外でソロリサイタルを行っており、売売日本交響楽団、東京都交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団などと共演。室内楽奏者として国内外の著名なアーティストと共演する他、オーケストラの客演首席も務めるなど、活躍の幅を広げている。桐朋学園大学音楽学部、桐朋学園大学大学院、パリ・エコール・ノルマル音楽院を修了後、現在はデトモルト音楽大学にてファイト・ヘルテンシュタイン氏のもとで学ぶ。2019年度明治安田クオリティオブライフ文化財団海外留学研修生。これまでに藤原浜雄、故岡田伸夫、ブルーノ・パスキエの各氏に師事。サントリー芸術財団よりPaolo Antonio Testoreを貸与されている。



**三浦 克之 (ヴィオラ) Katsuyuki Miura**  
1995年度セミナー生

4歳よりヴァイオリンを始める。桐朋女子高等学校音楽科(共学)を経て、桐朋学園大学入学。在学中にヴィオラに転向。卒業後、同大学研究科修了。1995年ローム ミュージック ファンデーション主催「夏のスイスセミナー」に参加。2000年読売日本交響楽団に入団。これまでにヴァイオリンを村川千秋、松谷恵、濱野正、梅津南美子、ヴィオラを岡田伸夫、店村真積、室内楽を名倉淑子、徳永二男、生沼誠司の各氏に師事。現在、室内楽などの活動に積極的に取り組んでいる。



**遠藤 真理 (チェロ) Mari Endo**

2006、2007年度奨学生 給付時の在籍学校:ザルツブルク・モーツァルト音楽大学  
2001~2002年小澤征爾音楽塾 塾生

第72回日本音楽コンクール第1位、2006年ブラハの春国際コンクール第3位(1位なし)、2008年エンリコ・マイナルディ国際コンクール第2位。ジャン・ピエール・ヴァレーズ、小林研一郎、山田和樹など国際的に活躍する指揮者やウィーン室内管弦楽団、プラハ交響楽団、ザルツブルク・ゾリステンらと共演するなど国内外で高い評価を得ている。ソリストとして活動するとともに読売日本交響楽団のソロ・チェロ奏者も務める。CDはエイベックス・クラシックスから7枚リリースされており、テレビや映画演奏の他にNHK-FMラジオ「きらクラ!」(全国放送)のパーソナリティを8年間務めるなど幅広く活躍中。2009年齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。



**門脇 大樹 (チェロ) Hiroki Kadowaki**

2007~2010年度奨学生 給付時の在籍学校:レッジョ・エミリア音楽院、アムステルダム国立音楽院  
2001、2002年小澤征爾音楽塾 塾生

東京藝術大学音楽学部附属音楽高校を経て、同大学卒業。日本クラシック音楽コンクール第1位およびグランプリ、第5回ピバホールチェロコンクール第3位、第74回日本音楽コンクール第3位。ザルツブルク=モーツァルト国際室内楽コンクール第1位。平成28年度エネルギー音楽賞受賞。東京藝術大学卒業後、ローム ミュージック ファンデーションより奨学金を得て、レッジョ・エミリア音楽院で研鑽を積む。ロリン・マゼール指揮、シンフォニカ・トスカニーニのベートーヴェン交響曲全曲演奏会に参加。その後アムステルダム国立音楽院にてアンナー・ビルスマのマスタークラスを受講。現在東京音楽大学、東京藝術大学非常勤講師。神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席奏者。



**佐野 央子 (コントラバス) Nakako Sano**

学生フェスティバル1999出演者 出演時の在籍学校:東京藝術大学 2000、2001年小澤征爾音楽塾 塾生

新潟県栃尾市(現・長岡市)出身。12歳よりコントラバスを始める。東京藝術大学卒業、同大学院修了。在学中、藝大史上初となる女性コントラバスソリストに選ばれ、若杉弘指揮、藝大フィルハーモニア管弦楽団と共演。2006年、ドイツミュンヘンに留学し研鑽を積む。小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクト、サイトウ・キネン・フェスティバル松本、東京・春・音楽祭、宮崎国際音楽祭、霧島国際音楽祭、ラ・フォル・ジュルネ・ナント(フランス)など多くの音楽祭に参加。全国主要オーケストラの客演首席を務めるなど、オーケストラ奏者としての活動の他、ソロ奏者として、全国各地で演奏会を開催し、好評を博す。2017年9月、サントリーホールにて山田和樹指揮、日本フィルハーモニー交響楽団と、大澤壽人作曲コントラバス協奏曲のソリストとして世界初演を果たす。今までに、村上満志、永島義男、山本修、ヴォルフガング・ギェトラー、ハインリヒ・ブラウンの各氏に師事。現在、東京都交響楽団コントラバス奏者。



**越知 晴子 (チェンバロ) Haruko Ochi**

2004~2006年度奨学生 給付時の在籍学校:ミュンヘン国立音楽大学

京都市出身。京都市立芸術大学大学院修了。ローム ミュージック ファンデーションより助成を受け渡独。ミュンヘン国立音楽大学大学院修了。同大学講師を経て帰国。第7回Josef Suder国際歌曲コンクールにて最優秀伴奏者賞受賞。キッシンゲン夏の音楽祭、シャネル・ピグマリオン・デイズ、仙台クラシックフェスティバル、ローム ミュージック フェスティバルなど数多くの演奏会に出演。またバイエルンラジオ放送、NHK-FM、NHKテレビ番組「ららら♪クラシック」「クラシック倶楽部」「クラシック音楽館」などでも演奏する。現在新国立劇場、滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール、関西二期会などでコレペティートルを務める。京都市立芸術大学非常勤講師。

公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーションは  
音楽文化の普及と発展のためにさまざまな活動をしています。

### 音楽文化の発展 若い音楽家育成のための事業を多く実施しています。

事業の中で関わった音楽家「ローム ミュージック フレンズ」は、1991年設立時よりこれまでで4,650人になります。

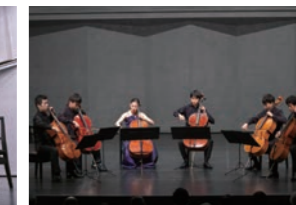
奨学生	507人	国内外の教育機関で音楽を学ぶ学生への奨学金の給付。
音楽在外研究生	64人	音楽家の一層の研鑽を図るための在外研究を援助。
音楽セミナー受講生	333人	プロの音楽家の育成を目的としたセミナー。現在までに弦楽器クラス、管楽器クラス、指揮者クラスを実施。
ローム ミュージック セミナー受講生	7人	世界で活躍するローム ミュージック フレンズによる音楽家育成セミナー。
京都・国際音楽学生フェスティバル出演者	2,625人	国際交流と音楽家の育成を目的として、世界を代表する音楽学校から音楽学生を京都に招いて開催するフェスティバル。
小澤征爾音楽塾 塾生	1,363人	オペラやオーケストラを通じて若手音楽家を育成するプロジェクト。

※複数の事業で関わった音楽家がいるため、各事業の人数合計とは一致しない。(2021年8月現在)

**奨学援助** 認定式・報告会を実施し、給付中また給付後すぐの奨学生によるスカラシップ コンサートも開催しています。



**ローム ミュージック セミナー**



**京都・国際音楽学生フェスティバル**



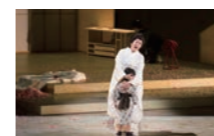
**小澤征爾音楽塾**

若手音楽家の育成を目的とした小澤征爾音楽塾の各種公演を共催しています。また、小学生を対象とした「子どものためのオペラ」を共催しています。



### 音楽文化の普及 クラシック音楽普及のための事業を多く実施、支援しています。

新国立劇場  
高校生のための  
オペラ鑑賞教室への助成



©寺司正彦、提供 新国立劇場

日本フィル  
(コパケン・ワールド)  
コンサートへの助成



日本フィル  
夏休みコンサートへの助成



ローム ミュージック ファンデーション  
SPLコード復刻CD集、  
解説DVDの発行



ロームシアター京都  
「ミュージックサロン」の運営



その他にもさまざまな事業で音楽文化の普及と発展を目指しています。

Webサイトのご案内 <https://micro.rohm.com/jp/rmf/>

ローム ミュージック ファンデーション

検索

[ローム ミュージック フレンズ]  
奨学生、在外研究生…ローム ミュージック ファンデーション 音楽在外研究生、セミナー生…ローム ミュージック ファンデーション 音楽セミナー 受講生、  
学生フェスティバル出演者…京都・国際音楽学生フェスティバル出演者、小澤征爾音楽塾 塾生

Rohm Music  
Foundation   
ローム ミュージック ファンデーション

